胃ろうってなあに？

NPO法人多摩胃ろうネットワーク　理事長
こすぎ駅前クリニック院長
厚生荘病院
宮脇　　誠

NPO法人
多摩胃ろうネットワーク
http://www.tama-irount.com

あなたが口から食べれなくなったらどうしますか？

人間も動物なので食事が出来なければ生きていけない

↓

医学の進歩により・・・

点滴（中心静脈栄養）

経管栄養（経鼻胃管、胃ろう）

にて、長期生命維持が可能になった。

口から食べられないで家で過ごしたい時は

↓

中心静脈栄養 → 毎日点滴の交換に病院へ行く

胃ろう → 家族が栄養剤を注入

経口摂取できなくなる病気

- 脳梗塞
- パーキンソン病
- 認知症（アルツハイマー病含む）
- 脳変性疾患（脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症）
- 脳腫瘍
- 頭部外傷
- 低酸素脳症
- 舌癌、咽頭癌
- 食道癌 等による食道狭窄

脳梗塞とは？

脳に行く血管が詰まってしまう。

↓

血液が流れない部分の脳細胞が死んでしまう

↓

詰まった血管の場所により

- 元の生活にもどれる
- 片身麻痺
- 意識障害で寝たきり
- 死亡

パーキンソン病とは

中年以降に発症し70歳以上では1000人中
7人います。

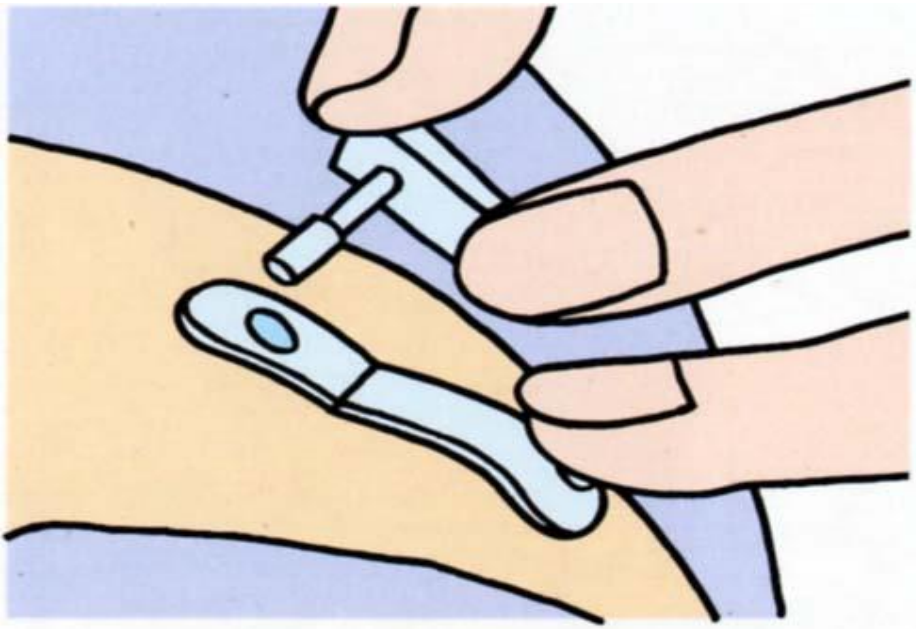
症状は振戦、動きの緩慢、小刻み歩行など

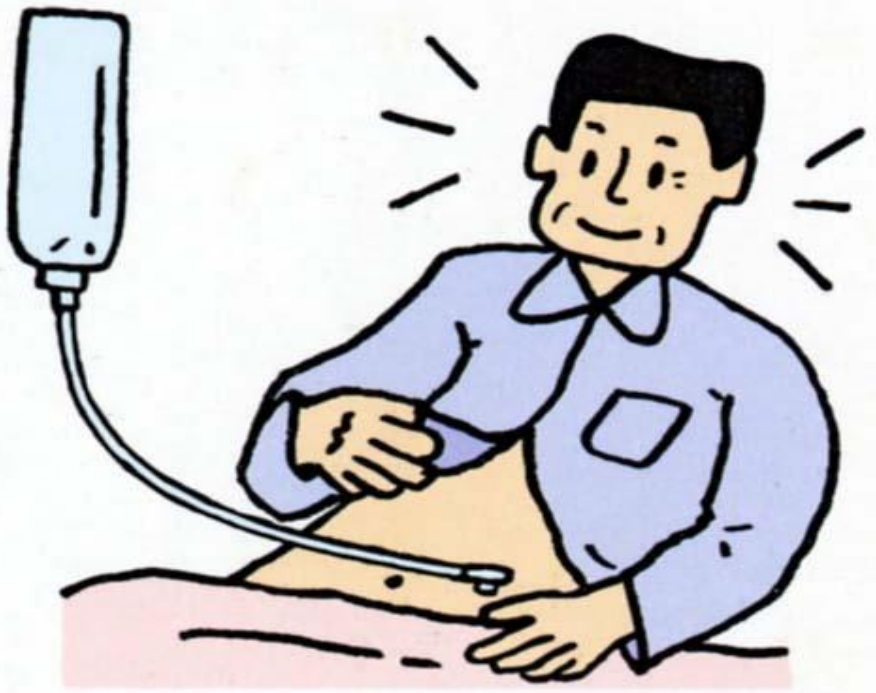
内服にて治療するが、徐々に進行し、

むせて食べられなくなり、寝たきりになる。

Q1．PEGって何ですか？

- PEGは口から食べられない人、
  飲み込むことができない人のために、胃に「小さな口」（これを胃ろうといいます）を造る手術です。

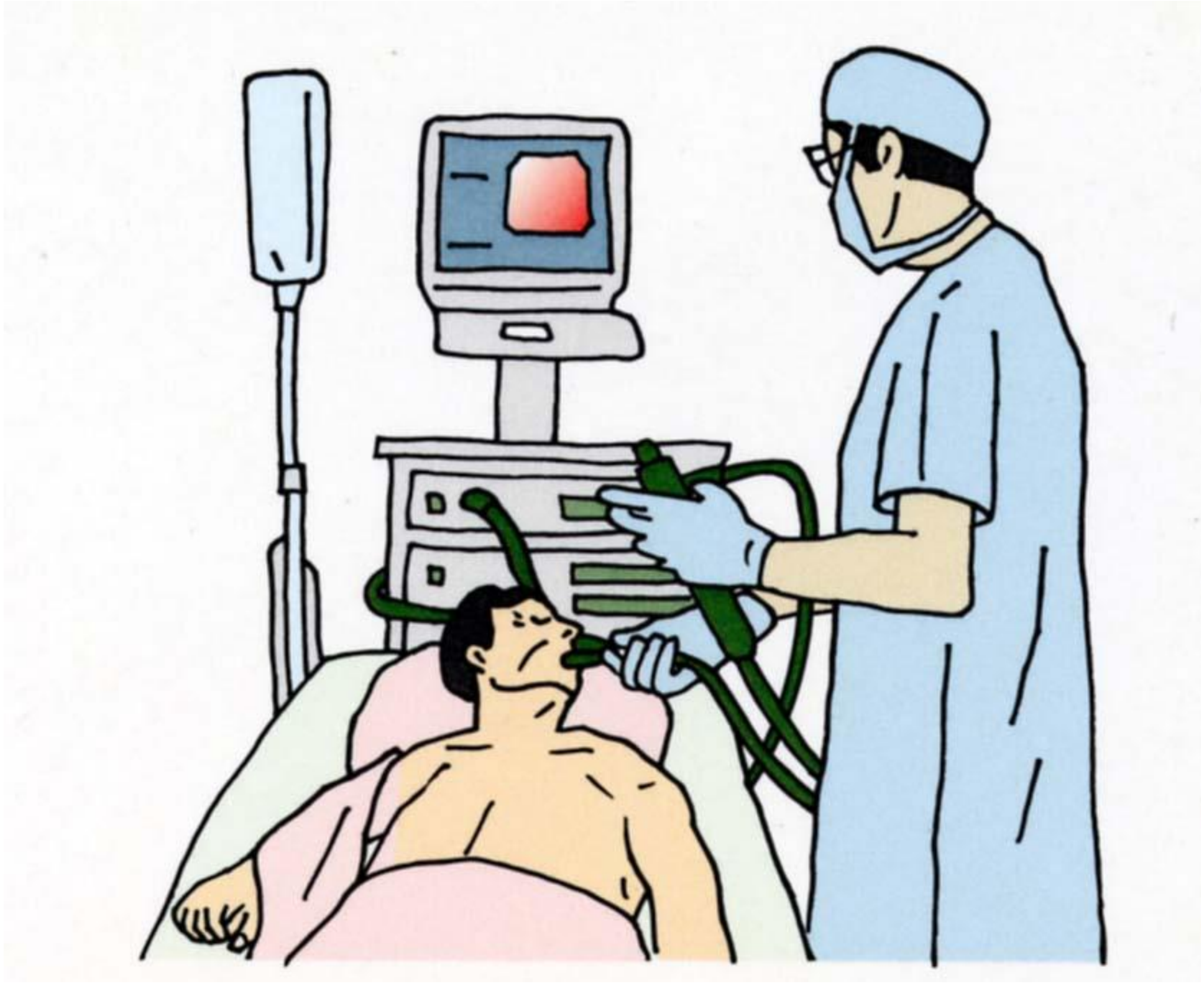




Q2. PEGは大変な手術ですか？

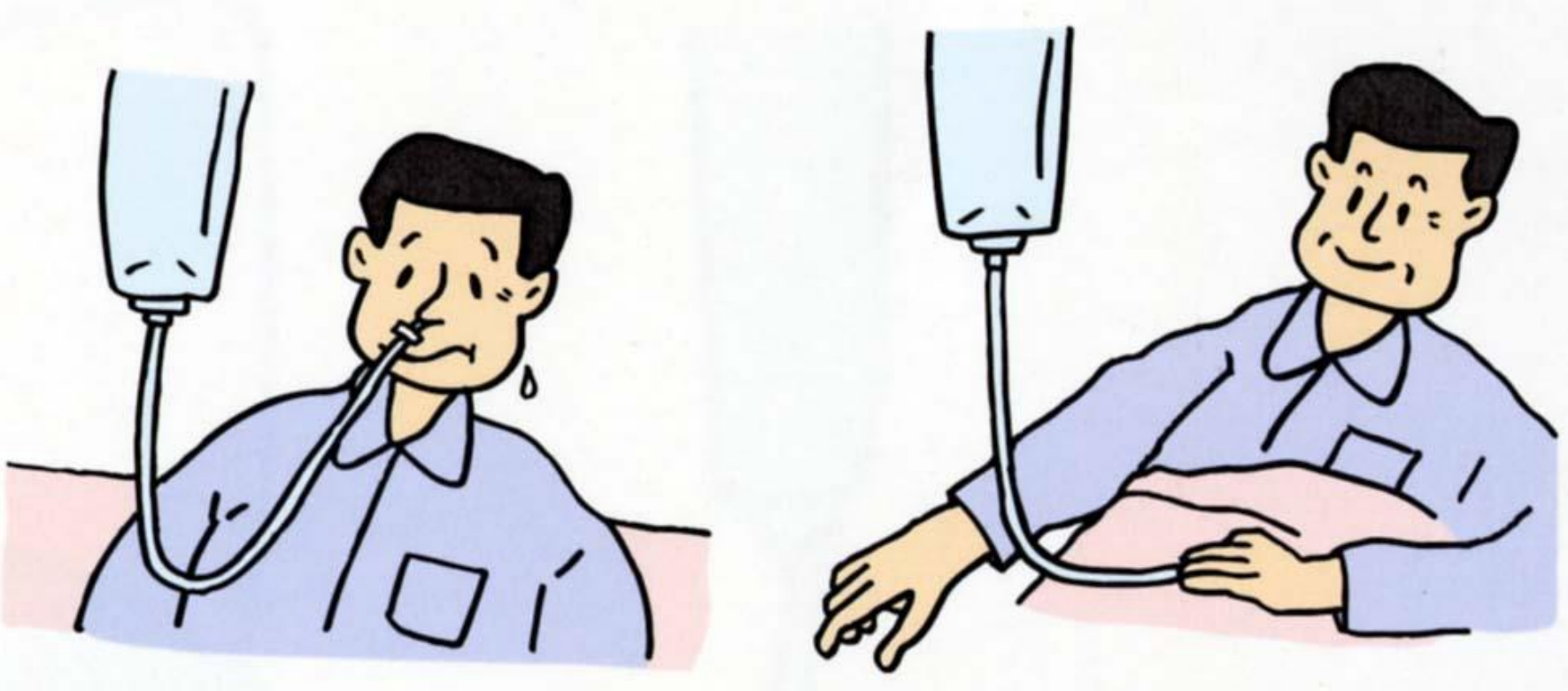
- いいえ、大変な手術ではありません。

  PEGは胃カメラを用いておこないますので、おなかに1cm程度の傷がつくだけで、出血も少なく、手術も15分程度で終わります。



Q3．見た目はどうですか？

- 胃ろうは鼻から入れるチューブのように顔付近にチューブがありません。そのため患者さんや家族にとっても煩わしくなく、見た目も通常とかわりありません。



Q4. 食事を口から取れますか？

- はい、とれます。

  胃ろうをつくっても、可能な方は口からの食事は出来ますし、むしろ好ましいことです。口から食べた食べ物がおなかから出てこないかと心配される人がいますが、その心配はありません。

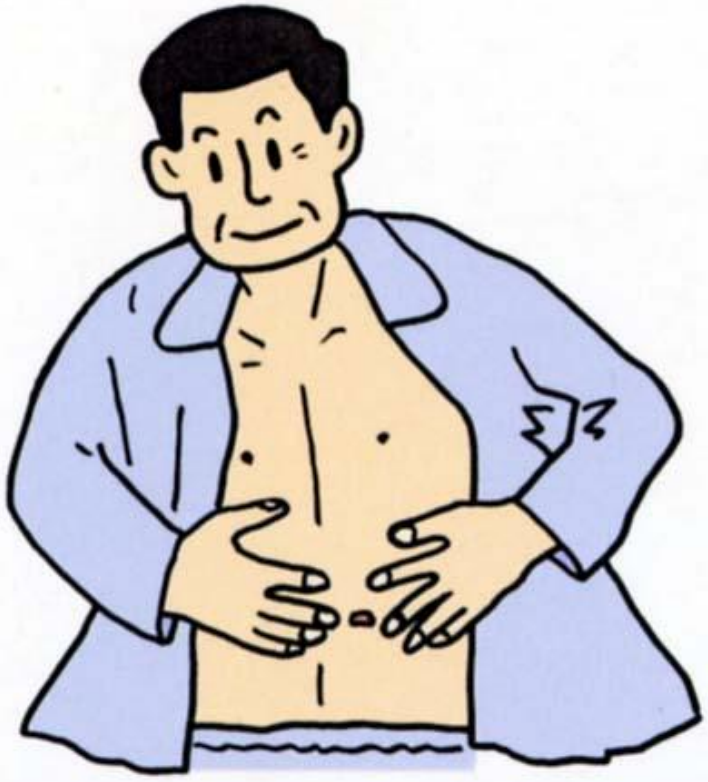
Q5. もとに戻せますか？

- はい、戻せます。

  口から十分な栄養がとれるようになったら胃ろうは不要になります。

  状況を見て胃ろうカテーテルを取り去って、元に戻します。

  胃ろうカテーテルを抜くと胃ろうは閉じてしまいます。おなかに開けた穴は数週間でほとんど目立たなくなります。胃ろうカテーテルを抜いたその日からでも食事はできます。



Q6. 栄養剤は？

- 栄養剤はいろいろな種類がありますが、最近はご自宅でも簡単に用意できるように工夫されています。

- また、栄養剤は保険の適用を受けているものもあります。栄養剤については製造元にお問い合わせ下さい。

Q7. 在宅介護はできますか？

- はい、できます。

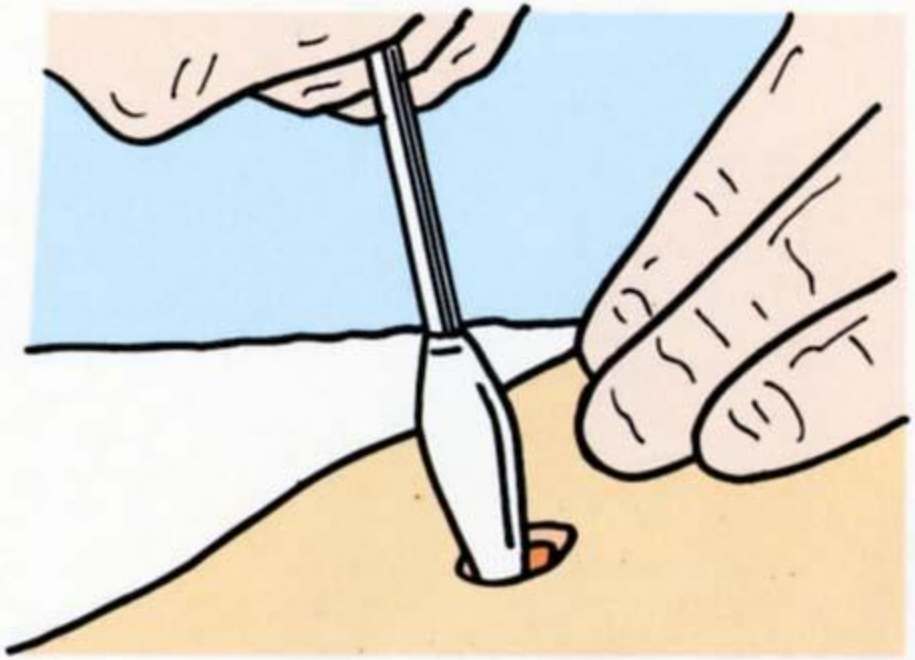
- 長期における在宅介護では、鼻から入れるチューブや血管からの栄養剤の点滴と比較して、介護者の負担を少なくすることができます。

  医師にご相談ください。

Q8. 胃ろうカテーテルの交換は必要ですか？

- はい、必要です。

胃ろうカテーテルは色々な種類がありますが、
いずれも定期的に交換する必要があります。
多少痛みを感じることがありますが、麻酔なしで、外来でも在宅でも交換できます。
交換については、医師にご相談ください。



Q9. お風呂に入れますか？

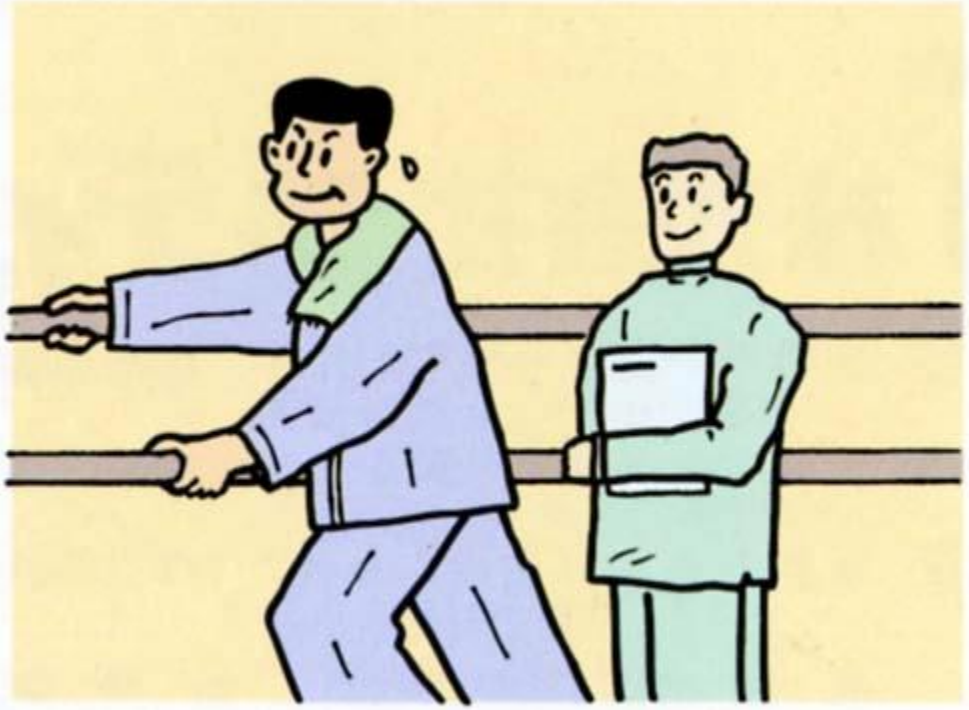
- はい、入れます。

- シャワーはもちろん、全身バスタブに使っても、おなかに水が入ることはありません。
- 入浴は普通に行い、石けんでよく洗い、清潔に保つことが大切です。
- ばんそうこうを貼って入浴する必要もありません。

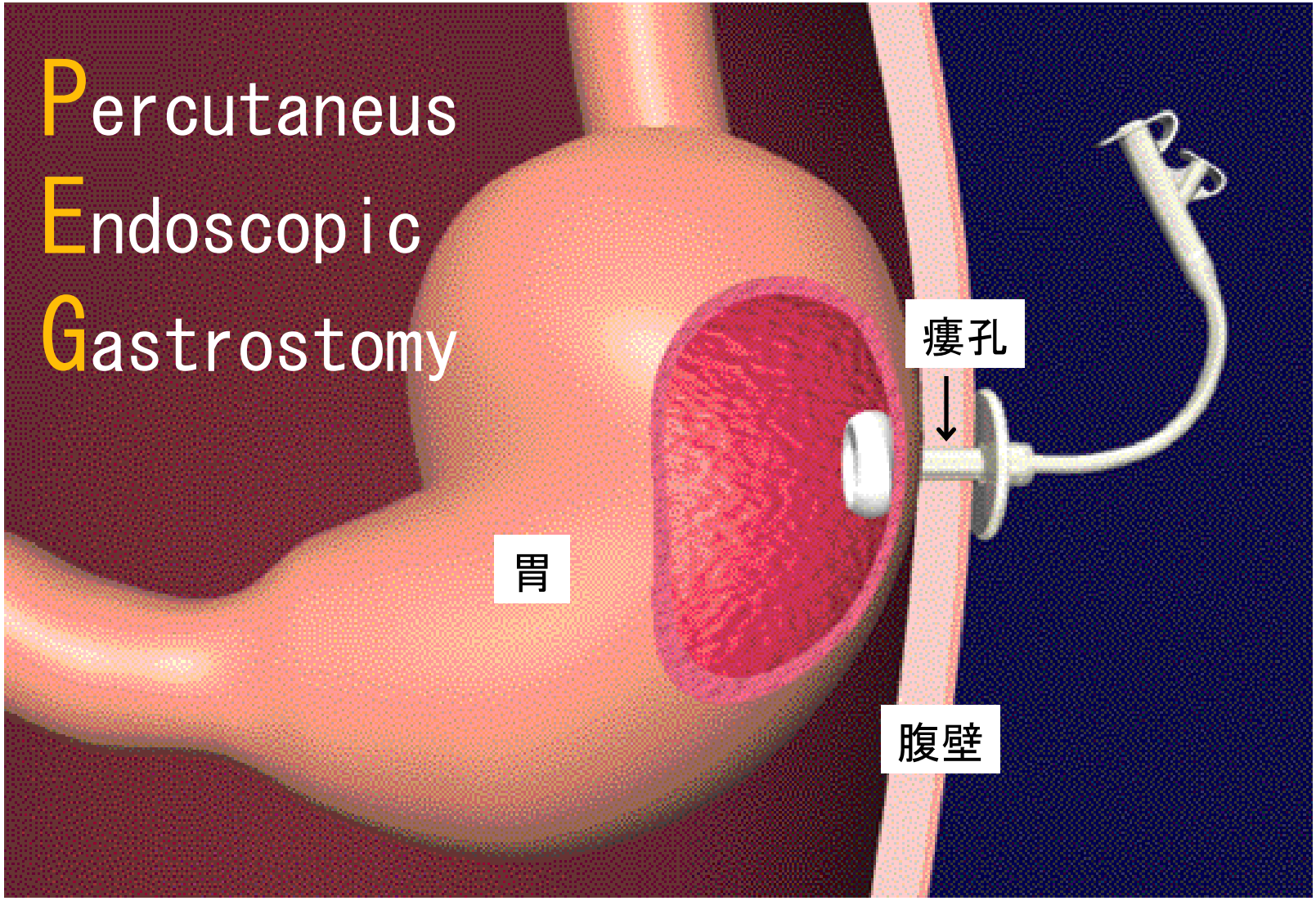
Q10. リハビリは？

- 飲む、食べるといった飲み込むための訓練は、鼻から入れるチューブがないので、肺に食べたものが間違って入ってしまう危険が少なく、より安全です。

- また歩行訓練などにおいても鼻からのチューブに比べて煩わしくなく、そのため患者さんの質が向上し、リハビリの効果も上がります。



PEGとは



2−1　造設手技

造設手技

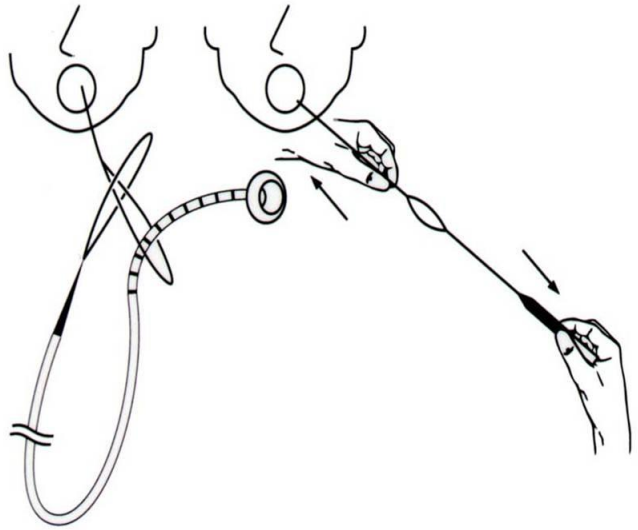
- 多くは内視鏡室にて施行
  （手術室やベッドサイドでも）
- 時間にして10～15分程度
- 局所麻酔下（時に鎮静剤の投与）
- 造設方法は３種類
  Pull法・Push法
  Introducer法
  セルジンガー・
  ダイレクト法

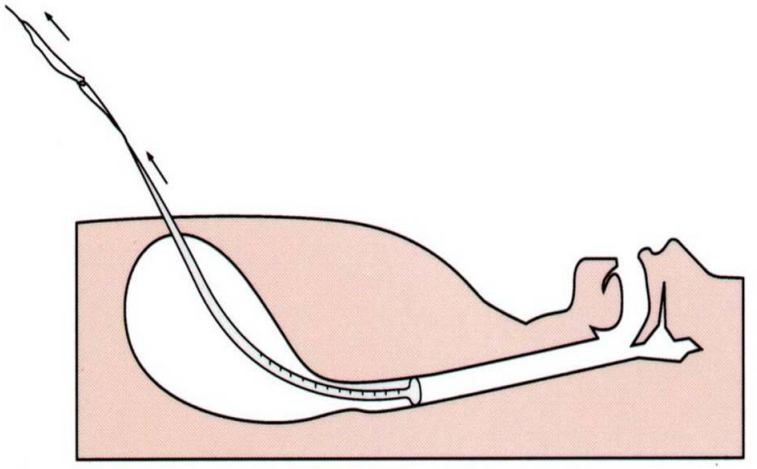
胃瘻造設(PEG)手技

Pull法

経皮的に挿入したループワイヤーを内視鏡下で把持し、経口的に体外へ。

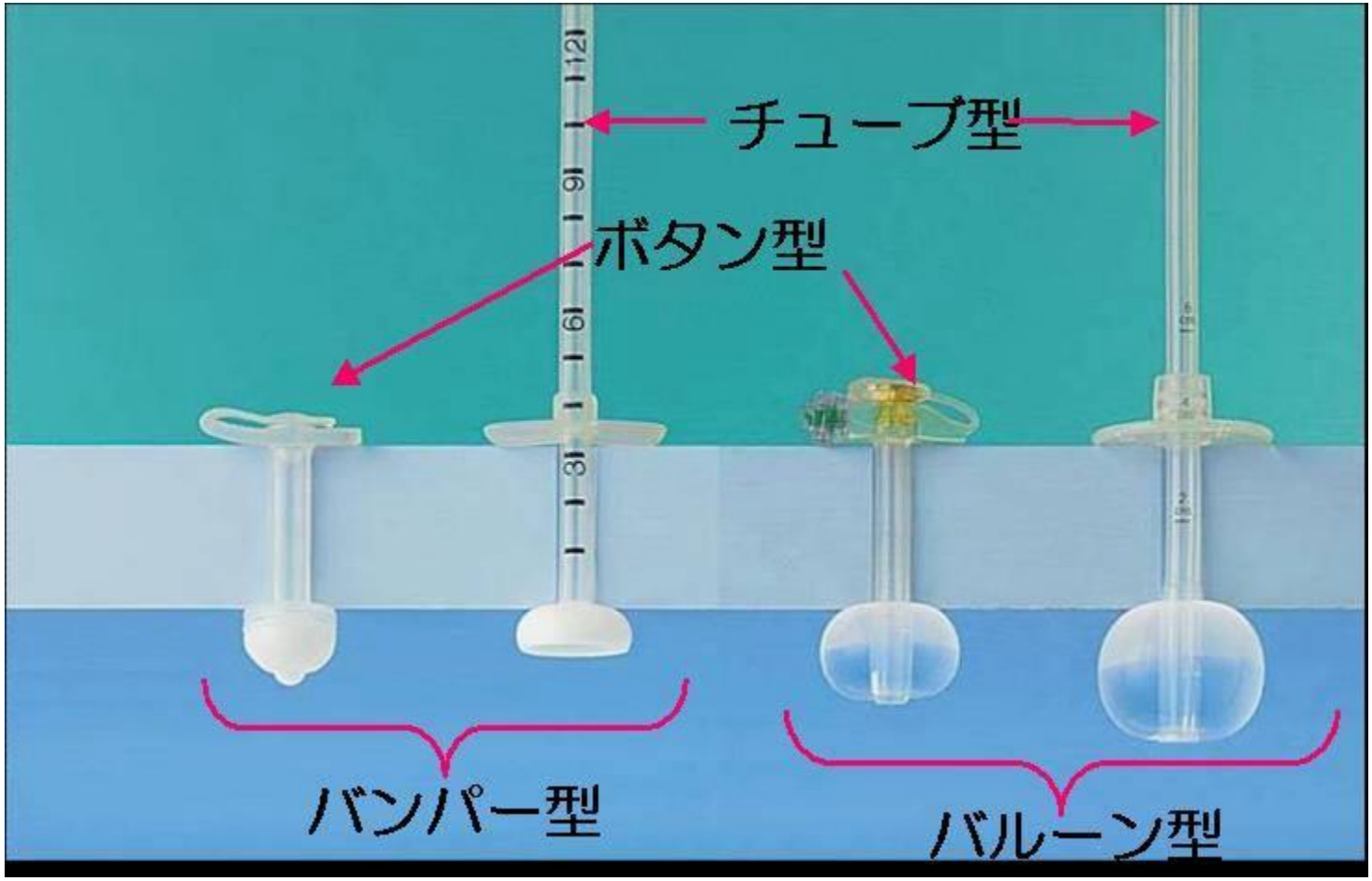
カテとワイヤーを結び、腹壁外から引き上げて、経口的にカテーテルを挿入。





2−3　カテーテルの種類

交換用カテーテルの種類



交換用力テーテルの特徴比較

バンパー型 ボタンタイプ

- 長期留置が可能
- 目立たず邪魔にならない
- 自己抜去の抑制

バルーン型 ボタンタイプ

- 挿入・抜去が容易
- 目立たず邪魔にならない
- 自己抜去の抑制

バンパー型 チューブタイプ

- 長期留置が可能
- 管理が容易
- サイズ調整が可能

バルーン型 チューブタイプ

- 挿入・抜去が容易
- 管理が容易
- サイズ調整が可能

ご静聴ありがとうございました。